

## 新潟地震の時は…

- ・地域の8割が浸水
- ・倒壊家屋はなし
- ・附船町地区は胸までの水位があった（床上浸水）
- ・交通手段は舟であった
- ・一週間水が引かなかった

## 地域の社会特性

- ・海と信濃川に挟まれた三角地帯である
- ・海拔0メートル地帯が多い
- ・高齢化率が高い（37.0%）  
【平成26年新潟市地区別防災カルテ参照】

## 地域の被害特性

- ・沿岸・沿川地域が大半を占め、津波到達時間が短く、非常に津波被害の危険性が高いエリア

## 各ブロックごとの具体的な避難方法

ブロック	特徴	期待される避難行動	避難目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海と川に挟まれた三角地帯で、一番早く津波が到達する</li> <li>・ほぼ全体が沿岸・沿川地域</li> <li>・高齢化率が高い</li> <li>・町内の数 3町内 570名 【平成27年4月入舟地区コミュニティ協議会調べ】</li> <li>・住宅から近くの避難目標まで最大でおよそ500m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく緊急に避難が必要なため、窪田町住宅、柳都中学校を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1目標：窪田町住宅</li> <li>第2目標：柳都中学校</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな造船工場があるが、避難先としては適さない（高い建物は無い）</li> <li>・一部沿岸・沿川地域を含む</li> <li>・高齢化率が高い</li> <li>・町内の数 9町内 2510名 【平成27年4月入舟地区コミュニティ協議会調べ】</li> <li>・住宅から近くの避難目標まで最大でおよそ600m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水しない高台を目指して避難する（柳都中学校）</li> <li>・緊急の場合は近くのビルへの避難も必要（窪田町住宅、北部総合コミュニティセンター）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1目標：柳都中学校</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川遡上地域、浸水すると水が長期に留まるおそれがある地域</li> <li>・大人数が避難できる日和山小学校がある</li> <li>・高齢化率が高い</li> <li>・町内の数 10町内 1510名 【平成27年4月入舟地区コミュニティ協議会調べ】</li> <li>・住宅から近くの避難目標まで最大でおよそ800m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日和山小学校、稲荷町住宅へ避難する</li> <li>・可能な場合は浸水しない柳都中学校へ</li> <li>・地域で決めた津波避難ビルへ避難も有効</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1目標：日和山小学校、稲荷町住宅</li> <li>第2目標：柳都中学校</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高台までは少し距離がある</li> <li>・浸水すると水が長期に留まるおそれがある地域</li> <li>・高齢化率が高い</li> <li>・町内の数 10町内 1302名 【平成27年4月入舟地区コミュニティ協議会調べ】</li> <li>・住宅から近くの避難目標まで最大でおよそ800m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早川町住宅、西湊町1ノ町住宅、西湊町2ノ町住宅へ避難する</li> <li>・ただし余裕がある場合は浸水しない地域を目指す</li> <li>・地域で決めた津波避難ビルへの避難も有効</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1目標：早川町住宅 西湊町1ノ町住宅 西湊町2ノ町住宅</li> </ul>